

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回光輝学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月10日（火）開会 13:15 閉会 15:00		
開催場所		つくば市立松代小学校 2階パソコン室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	近藤 大雄、足立 透、吉岡 良治、清岡 翔吾 館野 清子、牧 陽子、小杉 真紀、齋 均、須藤 路子 佐伯 朋子 手代木中学校：教頭 菅沼 祐子、教務主任 内田 尚樹 葛城小学校：校長 栗山 良一、教務主任 笠松 晶 手代木南小学校：校長 石田 容之、教頭 土井 志穂 松代小学校：校長 横田 康浩、教頭 清水 匠 教務主任 野尻 和幸		
	その他	地域学校協働活動推進員 木下 未佳		
	事務局	教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため。		
議題		「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」～地域と連携した活動の充実に向けて～		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 授業参観 4 協 議 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」～地域と連携した活動の充実に向けて～ (1) 学校評価アンケートの結果について (2) 取り組みの振り返りと次年度に向けて ① 各校ごとの話し合い ② 全体共有 5 事務連絡			

1 開会

2 会長あいさつ

3 授業参観

4 協議

熟議「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」
～地域と連携した活動の充実に向けて～

【ファシリテーター：佐伯委員】

佐伯委員：議題に向けて、学校評価の結果について各校長先生お願いします。

(1) 学校評価アンケートの結果について

① 葛城小学校（栗山委員）：学校評価アンケート結果の説明

児童と保護者を分けてアンケートを取る。

児童のアンケートの結果から

- ・低学年高学年共に95%が「授業が分かる。」と答えている。
- ・「タブレットのルールを使っている。」「授業に進んで取り組んでいる。」「先生は自分の話を聞いてくれる。」も95%と高い。子供のアンケートだから甘い部分もある。100%ではないため満足できない児童もいるため改善が必要である。
- ・目標や夢やめあてを持っている児童について、低学年は多いが、高学年になると低くなっている。

保護者アンケートの結果から

- ・95%以上のものとして「友達と仲良く生活している。」「学校行事、体験活動は子どもたちの成長につながっている。」
- ・「学習に進んで取り組んでいる。」は、78%と低い。児童のアンケートと差異がある。
- ・自由記述では「先生は、献身的に接してくれている。」とあった。
- ・体操服や給食についての意見も多かった。
- ・無記名にしてほしいという意見もある。

教職員アンケートは、来年度に向けて今後話し合って改善していく。

② 松代小学校（横田委員）学校評価アンケート結果の説明

経営方針「仲間と対話し支え合う、みんなが楽しい学校づくり」

その実現に向けて教育活動に取り組んできた。

アンケート結果で90%以上のもの

- ・「授業を理解している。」「学校生活が楽しい。」「友だちと仲良

く生活している。」が高い。友達と協力して取り組むことを楽しいと感じている児童が多い。

- ・行事については、「成長に役立っていると感じている。」「協力することの大切さを学んだ。」という意見がある。本校は、行事は自分たちで考え作っている。それが良い結果を生んでいる。
- ・学校ホームページなど地域と連携する部分も高い。

低い点（80%以下）のもの

- ・あいさつが低い。まずは先生が、模範を示していく。
- ・自主性も低い結果となっている。賞賛する活動を入れ、自分に自信を持てるようにしていく。
- ・「家庭との連絡が密になっている。」という項目も低くなっている。ICTでの伝達など、保護者が感じづらくなっている。
- ・指導力の向上やみんなが楽しい学校の実現、継続をしていきたい。

課題への取り組みとして

- ・自分で考える児童の育成、賞賛し自信をつける。
- ・気軽に相談できる体制づくり。リーバーの活用をしていきたい。

③ 手代木南小学校（石田委員）学校評価アンケート結果の説明

AIを活用して分析

- ・児童や教員、地域にとってのウェルビーイングを目指している中、学校、地域、保護者との連携で高い評価を得ることができている。
- ・今年度は保幼小との連携をより丁寧に行っていることで、手ごたえを感じている。
- ・行事によって児童が伸びていると肯定的に捉える保護者が多い。
- ・児童自身は、挨拶を頑張っていると捉えている。
- ・児童は、学校を安心できる居場所と感じている。
- ・93.2%の児童は「授業を頑張っている。」と回答しているが、それに対して保護者の意見は66.9%に留まっており、児童と保護者の間にギャップがある。また、小中一貫の9年間の連続した学びとしての連携についても保護者の肯定的な回答が少ないことから、児童の様子についての学校からの伝え方の工夫が必要と感じている。家庭とのより一層の連携強化を意識しながら取り組んでいく。

④ 手代木中学校（菅沼委員）学校評価アンケート結果の説明

<良かったところ>

- ・「進んで学習に取り組む。」「友だちと意見を出し合って取り組む。」生徒が9割以上となった。
- ・「仲良く」「思いやり」に関する項目では、生徒、保護者ともに9割以上がプラスの回答をしている。
- ・目指す生徒像に向けて、協働的な学びを推進する学習活動、良好な人間関係づくりを意識した特活等に取り組んできた成果が出ている。

<課題>

- ・「学習に進んで取り組む。」「家庭学習」など 生徒と保護者の認識に差がある。(保護者が低い。) 保護者との連携を強化しながら、生徒のよさを認め、成長を後押ししていける支援ができる協力関係を構築していきたい。
- ・今年度力をいれた「進んで挨拶をする。」生徒の割合は昨年度より若干下がった。(保護者は向上(どちらも80%))さらなる活性化に向けた改善の余地がある。
- ・保護者の意見として、「経験し学び体得する機会が減っていて残念」という意見もあった。生徒が創り上げたと実感できる活動の充実を図っていきたい。

(2) 次年度に向けた振り返り

① 各校ごとの話合い

【手代木中】

- ・小中連携に関わる活動について、プラス評価をした保護者が4校とも低い。小中学校の教員同士は、連携すべきところは連携しているが、保護者には見えにくい。保護者にとって特に困っていることがなく、子供たちがスムーズに中学校へ進級することができているのであれば、特に課題として捉えなくてもよいのではないか。
- ・「学校が安心できる場所」であることは、とても重要な点である。「学校が安心できる場所」であるかの認識は学年が上がるにつれて微減している感じだが、子供も学年が上がるにつれて、学習面や友達関係等々で悩みも出てきて、捉え方が変わってくるという結果なのではないか。悩んだり、困難さを感じたりしても、それをその後につなげられる支援や環境があることが大切である。
- ・コミュニティ・スクールとしては、「地域が学校を支える」という視点で、どのような活動ができるかを考えていきたい。谷田部中の取組は参考になる。手代木中学区の地域にどれくらいのポテンシャルがあるかどうか分からないが、地域の力をうまく活用できるようにしていきたい。

【葛城小】

- ・「9年間の学び(小中一貫)を意識した教育活動」について、保護者には見えづらい。アピールはどのようにしたらよいか。
→以前は交流が主になっていたが、交流だけが小中一貫ではない。交流が減り、小中一貫の研修も減っているため、分かりづらいが、もう少しアピールは必要だろう。
- ・学園の課題をどのように共有し、生かしていくか。どのような姿を見据えて9年間学ばせていくか。さらに、保幼小の連携も密にしていきたい。要録等も見してほしい。
- ・児童が、「将来の目標やめあてをもって生活している。」という

ことについての割合が低い。尋ね方によって難しさがあるかもしれないが、体験に来たり、見学に来たりする児童・生徒の様子を見ても、熱量が低いと感じられる。また、コミュニケーション能力の低下も感じ、自分の言葉がなかなか出てこない児童の姿も多く見られる。地域みんなでも応援していきたい。

【手代木南小】

- ・保護者や地域の方からの恩恵を、学校は享受するばかりではなく、CSの活動の楽しさも同時に広めていくことを意識することが大切である。
- ・今後、広がりを見せる中で、地域の方の関わりも増えていくことになるが、誰でもいいというわけではない。児童に関わるにあたって、「話をじっくり聞いてくれる」「信頼関係を築いていける相手」である必要がある。
- ・CSコーディネーターや、てみなみんなの学校ボランティアとして、地域の人を受け入れる立場にとって、多くの方からの連絡や細かいやり取り等の個別の対応をどのように進めていけば負担感が少なくよいかという点が課題である。
- ・現在行っているイベント等の活動を大切にしながら、草の根的に広めていくようなスピード感が、本校の実態に合っているのではないか。
- ・地域に広めていくにあたり、まずは安全面と信頼度を重視していきたい。

【松代小】

- ・アンケート結果として基本的に高い数値を出している。
- ・自由記述の部分では、「記名式」にしたことで、生産性のある意見をたくさんいただくことができた。記名式だからこそ個別に対応し、思いを伝えることができた。保護者に御理解いただけ部分が多い。
- ・普段感じない部分を指摘してもらったことで、改善につなげていけた。
- ・CSの活動については、今年度の活動については計画的に全て取り組むことができた。
- ・今年度は「保護者」とのつながりがほとんど、次年度は「地域」とさらにつながっていきたい。
- ・児童と地域の意識がさらに高まっていけるとよい。
- ・例えば、子供たちが学校にいる時間に、「子供たちと一緒に」落ち葉掃きなどもできるとよい。
- ・地域としては先生方が何を求めているか知りたい。アンケートを取るのはいかがでしょうか。CSにも「できること」のアンケートを取るのもいいのではないか。

- ・学校では、「掃除」や「学習支援」などがとても助かっている。
- ・支援をするにも、それで先生方の負担が増えてしまうのは違う。
- ・CSで取りまとめをする人がいれば負担はないのではないか。
- ・学校とCSの連絡方法などがシンプルになると取り組みやすい。
例えば、授業前日に「何の授業にどんなことが必要かを募集して、協力してもらおう」など。授業内容は流動的に変化する時があり、縛りがあると先生方は敬遠してしまう。
- ・保護者の方への周知方法はどのようなものがあるか。まずは回覧などで伝えてはどうか。
- ・まずは奉仕作業などに来てもらうことが第一である。そこで「参加してよかった」と感じてもらうことが大切である。まずは、松ボラの活動や学校を知ってもらうことが大切である。
- ・学習支援には守秘義務もあるので、その対応に難しさも伴う。

② 全体共有（上記の各校報告内容は割愛）

【葛城小より】

- ・アンケート結果では、どの学校からも小中一貫の連携が低い。どうアピールしていくか。そもそもどうしていくものか。過去は交流もあり目に見えたもの。本来は、9年間を見越して学んでいく。＝保護者には見えないもの。
- ・こうした考えでやっていることを保護者に理解してもらおう。
- ・目標がない、将来の夢低い。コミュニケーションも低い。そうした場をつくることができていない。

【松代小より】

- ・今年度の振り返りと次年度に向けて話し合った。
- ・さらなる活動の充実と学習支援の充実をしていく。参加しやすさがあるといい。松ボラも教員も準備することがなくできるシステムを目指していく。
- ・来年度は保護者だけでなく地域に広げていく。
- ・参加者が楽しかったという思いをもってもらうことが大切である。

【手代木南小より】

- ・地域への広め方について、スピード感や楽しさも同時に広めていくことを意識する。
- ・地域の人なら誰でもいいというわけではない。「話をじっくり聞いてくれる」「信頼関係を築いていける相手」である必要がある。
- ・地域の人を受け入れる側としては、多くの方に対してどのように個別の対応をしていけばいいかということが課題である。
- ・今の活動を大切にしつつ、草の根的に広めていくスピード感が、本校の実態に合っている。広げるにあたっては、まず安全面と信頼度を重視していきたい。

【手代木中より】

- ・安心して学校に行けている生徒、保護者は8割を超えている。安心して通える学校は、とても重要な要素である。
- ・9年間の学びは見えないもの。連携をしているが見えない部分がある。見えなくても問題ないものもある。アンケートの質問の仕方によって保護者の見え方も変わってくる。谷田部中の取り組みなどを参考に、地域の力を学校に活かしていきたい。

【佐伯コーディネーターのまとめ】

- ・今年はCSが始まったばかりで手探りの状態である。広げる、認知が課題である。
- ・地域の皆さんの、やりたい、得意を生かしていきたい。

5 事務連絡

- ・令和8年度の委員委嘱について
一年間お世話になりました。単年度任用だが、再任も可なので、学校から依頼があれば、来年度もぜひ協力してくれる方はお願いします。
- ・アンケートの協力依頼
他の地域の委員さんから「子供を育てるのは誰ですか」という言葉を聞いた。「地域社会」みんなで育てていくという意識を持つていくことが大切である。それがCSのねらいである。みんなで育てていきましょう。

6 閉会

※本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和7年度第3回光輝学園コミュニティ・スクール 協議会

日 時 令和8年2月10日(火) 13:15～

場 所 光輝学園つくば市松代小学校
2階パソコン室

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 授業参観(20分程度)
- 4 協 議 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」
～地域と連携した活動の充実に向けて～
 - (1) 学校評価アンケートの結果について
 - (2) 取り組みの振り返りと次年度に向けて
 - ① 各校ごとの話合い
 - ② 全体共有
- 5 事務連絡
 - ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- 6 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回光輝学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年8月4日（月）開会9:30 閉会11:00		
開催場所		つくば市立葛城小学校南館1階会議室		
事務局（担当課）		つくば市立葛城小学校		
出席者	委員	足立 透、吉岡 良治、清岡 翔吾、宮腰 清一 館野 清子、齋 均、須藤 路子、佐伯 朋子、森 智世 手代木中学校：校長 四位 悟、教頭 菅沼 祐子 教務主任 内田 尚樹 葛城小学校：校長 栗山 良一、教頭 小松原 美香 教務主任 笠松 晶 手代木南小学校：校長 石田 容之、教頭 土井 志穂 教務主任 原口 知武 松代小学校：校長 横田 康浩、教頭 清水 匠 教務主任 野尻 和幸		
	その他	手代木中学校：生徒指導主事 根本 賢 8学年主任 佐々木 裕樹 葛城小学校：生徒指導主事 山口 香穂里 4学年担任 上野 彩織、6学年主任 宮内 宏和 手代木南小学校：1学年主任 宮本 英里 5学年主任 片岡 利香、6学年主任 山崎 晋 松代小学校：生徒指導主事 加藤 雅哉 保健主事 佐藤 真理子		
	事務局	教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人

非公開の場合はその理由			
議題	「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 自己紹介 4 協議 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～ (1) 今年度の活動・取組について (各校) (2) 全体共有・振り返り (3) 今後の予定 5 閉会		

<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 足立会長：本日は第2回目のコミュニティ・スクール協議会である。地域と連携した活動について熟議を深めていく上で、委員以外の先生方にも参加していただいている。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 協議 (1) 今年度の活動・取組について (各校) 熟議「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～ 【ファシリテーター：宮腰委員】 宮腰委員 本日はまず各校ごとに、目指す児童生徒像に向けて、地域と連携した活動を充実させるためには、どのような教育活動ができるか、地域としてどのような学校支援ができるかについて話し合いを進めていただきたい。</p> <p>《各校の時間》 ○手代木中 ・「あいさつ」の活性化を目指して学校と地域とが連携しながら、あいさつ運動等、何か活動ができるとよい。 ・今年度のこれまでの活動としては、8年生の職場体験に向けた活動が挙</p>
--

げられる。体験場所の選定は、地域学校協働活動推進員の方の協力の下、委託業者のサポートを得ながら行った。委託業者のサポートは、職場体験学習の充実及び教員の働き方の改善に向けて、大きな力となった。これからもCSと業者の力を合わせて、持続可能な方法を構築できるとよい。

- ・地域の力を「労働力」としてではなく、「ネットワーク」として活用していけるようになるとういのではないか。

○葛城小

- ・現在は、児童が卒業した後に委員になっている方が多い。おやじの会や読み聞かせなどで関わっている。可能な限り地域連携をしている。
- ・もともとの地元の方、筑波大関係者、産総研の方が多かったが、今は多様な方々が集まっている。児童にも社会に出る前に多様な人がいることを知ってほしい。新興住宅地としてだけでなく、自然もあり、伝統的なもの（八坂神社の祭り、納涼祭、昔遊びなど）もあり、様々な関りが可能である。児童には、様々な仕事や人間関係を経験してほしいと願っている。
- ・様々な仕事（会社）などにもつなげていければ・・・。
- ・職場体験なども。キッズフェスなどでも様々な関わりが持てるとよい。
- ・グランドデザインでは、3つの柱「学力、感謝と思いやり、たくましさ」をもとに進めている。予算を受けて、具体的な取組としてはどのようにしていくかを検討している。
- ・葛城版「コミュニティ・スクール」としては、リサイクル活動、キッズフェス（11/15）、防災教室（学校防災連絡会議と合わせて）を行う予定である。
- ・かまどで火を焚いて水を温めるのみではなく、お米を温めておにぎりをつくるという計画がある。
- ・昨年、一昨年は、お湯を沸かして終わってしまったので、すぐに終わってしまった。今回はお米を温めることができるので良かった。
- ・キッズフェスで保護者にお手伝いしていただいたり、一緒に作り上げたりする中で、自分たちでつくる大変さを感じることができる。議題の「地域との連携」が表れている。

○松代小

- ・松ボラの環境整備について主に検討していく。
- ・日時は10/11に父母教と共催で実施するか、また別にするか。
- ・参加人数によって実施場所も変更する（基本はプール周辺と校庭）
- ・できればエアコンフィルターなど、日々の清掃では行き届かない場所もできればよい。
- ・主に「開催日時」「父母教の関わり」「周知の方法」について議題としたい。

○手代木南小

- ・第2回美化作業に向けて、QRコード付きのチラシを作成し、回覧板にて周知を行うことで、地域にも広く呼び掛けていく。
- ・昔遊びの学習では、児童の祖父母世代よりもさらに上の年代の地域の方にも参加を呼び掛けるのも良いのではないか。
- ・4年生社会科の水の学習でつくったポスターを地域に掲示してもらったり、ミシンボランティアを募ったりするなど、地域の人と繋がりが持てるようにするとよいのではないか。

《共有時間、途中経過を各校から》

○手代木中

- ・8年生で職場体験が行われる。今までは教員が依頼しなければならなかったが、市の予算が確保されたため、新たな取組が進んでいる。打診の段階で3分の1が新規開拓だった。教員だけではこれだけの数を開拓していくことは難しく、業者委託は効果があった。学年全員分の体験先を手配するには、時間もかかる。保護者のネットワークを生かしてどう進めるのか検討していきたい。
- ・あいさつ運動での交流、安全点検、環境整備などでの地域人材の活用・連携も話題に上がっている。人的ネットワークとして整えていくのが本来の姿ではないのだろうか。

○葛城小

- ・葛城版コミュニティ・スクールがもともと存在している。リサイクル活動、葛城キッズフェスなどを地域として行っている。学校防災連絡会議を4年生の防災教室と抱き合わせて行う方向である。去年は火おこしをして水を温めるのみだったが、今年はお米を温めておにぎりにしていく。普段の授業ではできないようなこともバックアップしていきたい。

○松代小

- ・進捗状況を確認。各種活動が順調に進んでいる。活動していただいた方々へ謝金が出せるようになったことが大きい。今後は、どんな活動内容を推進するか、どれだけ参加者を集められるかが大切。地域への拡大については、まずはこれまで関わりのある方々、顔が分かる方などの近いところから進めていきたい。

○手代木南小

- ・美化作業を行うにあたりチラシを作成し、回覧板で地域に周知する。地域の方にも参加を呼び掛けることで、学校の活動と結び付けていきたい。生活科の昔の遊びについて、児童の祖父母世代よりもさらに上の世代の地域の方々に入っていただくのも一案ではないか。4年生社会科の水の学習でつくったポスターを地域に掲示させてもらったり、地域の方に家

庭科のミシンボランティアを依頼したりするなど、チラシにQRコードをつけて地域に呼びかけることをきっかけとして、地域との繋がりをつくりたいと考えている。

《各校の時間》

○手代木中

- ・部活動地域展開でも、地域との連携を図りながら進めていけるようになるとよい。誰が、どこにいるのか、何ができる人が地域にいるのか分からない。地域に呼びかけ、人材を探すことも必要となるのではないかと。
- ・「『おはようございます』と声をかけてください。」「この時間に生徒が登下校するので、散歩中や玄関先でちょっと気にかけて子供の様子を見てください。」と地域の方に呼びかけるなど、地域の子供たちに関心をもってもらい、地域全体で、子供たちを見守り、育てていこうという雰囲気をつくれるとよい。
- ・これまでのPTAの活動を地域に広げていくイメージがよいのではないかと。
- ・登下校や放課後の過ごし方等、学校へクレームが来ることがある。地域でできることは地域で…ができるとう嬉しい。

○葛城小

- ・キッズフェスは未定だが、保護者の方とどれくらい使えるのか、地域の方が何を行うのかが分かってからになる。6年生を中心にブースをつくる。お化け屋敷、ストラックアウト、アクセサリーブづくりを予定している。
- ・小学校で感謝の心をどのように培っていくのか（現在、町探検の中で保育園側として関わっている）普段は、なかなか地域と関わるのは難しいのではないかと。年に1度のみで継続的にかかわっていくのが難しい。保幼小カリキュラムとの関わりも。いつでも協力していきたいと考えている。保育園や幼稚園は増えてきているが、様々な体験を積み重ねていきたい。
- ・町探検で行ける場所として、地域的に様々な場所に行ける。目で見るとよさ、オンラインのよさなどを生かし、児童の自己有用感を高めるためにも生徒指導の立場からも。
- ・昔遊びで来ていただける方が年々少なくなっている。
- ・昔遊びは、デイサービスの関係において、団体としては、つくばにたくさんあるので利用していくとよい。

○松代小

- ・開催日時について、子供たちの登校に合わせて行うなら9月初旬が適切だが、暑い時期での開催では心配なので、10月がいいのではないかと。
- ・飲み物は各家庭で持ってくるので、かき氷などの付加価値を提供すると

参加率が上がる。ただし学校からは出せないで、父母教との共催ではどうか。父母教としては、総会決議にないことはできない。予算も限られている。今後検討していきたい。

- ・松ボラとしては10月に開催する方向で決定。父母教がどのようにかわるかについては、父母教内で検討している。
- ・周知方法としては、チラシを作成する。在校生に配布し、兄弟関係を通じて卒業生にも周知したらどうか。地域住民には、過去にかかわってくださった方に郵送する。
- ・手代木中のチラシを松代小で配布することもあるので、手代木中を通して配布するのはどうか。活動を知ってもらうことにもつながる。
- ・区会に周知することについては今後の課題とし、まずはこれまで学校と関わったことがある方々から始めたほうがよい。自発的には声をあげないが、学校から声がかかれば学校に協力したいと思っている人もたくさんいる。CS協議会委員から周知することも協力したい。
- ・スクリレ等のデータ配信も手軽でよいが、高齢の方は紙媒体のほうがよい場合も。周知の方法を複雑にすることで先生方の業務が増えていってしまうのであれば方法を変えることも必要である。先生は子どもたちと向き合う時間を大切にしてほしい。
- ・その他検討事項として。戦争体験などを伝えたい地域住民もいる。夏休みだと低学年中心になってしまう。学校で開催できれば、多くの児童を対象にできる。今後検討できればしていきたい。

○手代木南小

- ・手南まつりについて、児童館まつりや地域の方々とも連携ができるのではないかと。
- ・2年生生活科の町探検について、地域の情報に詳しいCSコーディネーターに事業所をリストアップする作業に協力していただいたことにより、新たな地域資源の開発につながっており、学校としては大変ありがたいと感じている。

(2) 全体共有・振り返り

○手代木中

- ・部活動地域移行における地域との連携はどのようにしていくか。地域のクラブとして、地域の方等が責任をどの程度負えるかも難しい。ハードルを下げたところから進めたい。
- ・地域の人材のネットワークづくりが重要となる。そこから具体的に動いていくことが必要。
- ・学校の困り感としては、人手不足が一番に挙げられる。少しでもCSが手助けできるとよい。

○葛城小

- ・リサイクル活動、葛城キッズフェス。
- ・保幼小との連携も考えられる。
- ・学校防災連絡会議は、昨年よりも活動内容を広げ、体験活動も。
- ・昔遊びや町探検でも御協力いただいて、回数を増やしたり、範囲を広げたりしていきたい。

○松代小

- ・地域の呼びかけについて、これまで関わってきた方へは直接声かけをしていきたい。CSからの個別の周知もお願いできることになった。
- ・「児童と向き合う時間を大切にしながら、無理なく活動の推進を行っていくように」との心強い言葉を頂いたので、肝に銘じて推進していきたい。

○手代木南小

- ・手南まつりで、地域の方々との連携ができるのではないかな。
- ・2年生の町探検について、地域の事業所を探す作業を地域の事情に詳しいCSコーディネーターの方に協力していただけたことにより、新たな地域資源の開発につながっており、学校としては大変ありがたいと感じている。

宮腰委員 どのようにネットワークを広げていくか。簡単どころから広げていきたい。引き続き各校で話し合いが必要。そのための核になる人が見えてきた。

○手代木南小

- ・手南まつりについて
敷地外である児童館の隣の道路で行っている。内容は、PTAとおやじの会
主催で保護者が中心となって進めている。市の許可をとる上で難しさを感じている。生涯学習推進課の方でも何とかできないか。
→生涯学習推進課へ持ち帰り
→CSとの共催ということは可能か。道路の許可も何とかしていきたいのだが。区会等の共催も入れてほしいと言われた。
共催という形をとれるのか？
→保留 規則とも照らし合わせていきたい。
→CS協議会は、児童生徒をどのように育てていくかを話し合う場、方向性を決めていくものである。

事務連絡（生涯学習推進課より）

- ・8/23 CS委員のための研修がある。
- ・7/15 CSだよりを発行。年4回予定

- ・ネットワークをつくるのは時間がかかる。しかし、委員の方で進めていかないと進まない。会議には地域の人材をお呼びすることも可能である。

(3) 今後の予定

- ・今年度年3回開催予定
3回目は令和8年2月10日 松代小学校にて開催予定

※本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

5 閉会